

平成28年度 公益財団法人鹿沼市農業公社 事業報告

農業を取り巻く状況は、混迷するTPPの行方や、農業従事者の高齢化、後継者不足、農産物の価格の低迷、食糧の安定供給の懸念などの慢性的な問題や、これまで半世紀にわたり続いてきた「減反政策」の見直しなど、農業を大きく転換するであろう新農業政策が囁かれております。

身近な状況としては、平成27年9月の豪雨災害に伴う市からの支援要請に基づき、被災水田の復旧作業を最近まで実施してきたほか、鹿沼の「いちご市」宣言を受け、新規就農者受入れ体制の整備、狩猟免許取得補助など、多くの事業を展開してまいりました。

今後も、農地中間管理事業や農地利用集積円滑化事業等農地流動化推進を中心に据え、関係機関との連携を密にして、効率的かつ安定的な農業経営が継続できるよう、各種公益事業等に取り組んで参ります。

以下、具体的な事業については、下記のとおり報告いたします。

1 理事会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時理事会	2月25日	・平成27年度事業報告、収支決算報告、定時評議員会招集について、理事長、副理事長、常務の職務執行状況の報告について
臨時理事会	3月24日	・職員給与規程の一部改正について
臨時理事会	4月7日	・評議員選定委員の選任について
臨時理事会	7月27日	・補正予算について、理事長、副理事長、常務の職務執行状況の報告について
定時理事会	12月5日	・平成28年補正予算、平成29年事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込み、評議員会の開催について
臨時理事会	12月26日	・職員給与規程の一部改正について

2 評議員会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時評議員会	3月16日	・平成27年度事業報告、収支決算報告、理事の選任について
臨時評議員会	4月5日	・監事の選任について
臨時評議員会	12月15日	・平成28年補正予算(案)、平成29年事業計画、収支予算、資金調達及び、設備投資の見込みについて

3 各種事業の実施状況について

(1) 農地集積円滑化事業

区分	当初計画		実績		備考
	戸数		戸数		
地主	560戸		559戸		対比 99.8%
			筆数	1,886筆	
	390ha		372.2ha		対比 95.4%
担い手	78戸		75戸		対比 96.1%
			筆数	1,886筆	
	390ha		372.2ha		対比 95.4%

農地利用集積円滑化事業の新規契約

区分	実績				備考
地主	戸数	27戸	面積	12.5ha	
担い手	戸数	8戸	面積	12.5ha	

(2) 農作業受委託等推進事業

○農作業支援制度確立のための調査、相談活動の実施状況

- 内 容
- ・農作業支援者の登録
水田の水管理 52名
畦畔の草刈作業 25名 グループ1団体
 - ・畦畔等の草刈委託希望農家に対し、登録者情報を随時提供。
 - ・現地にて委託希望農家と農作業支援登録者との調整(畦畔面積を計測し、料金設定等の指導)を実施。

○農地相談会

内 容: 農地の売買、賃貸借、農作業委託等の農地に関する総合的な相談会を年1回開催。

相談件数: 16件

(貸付・売却13件 購入規模拡大4件、新規就農1件)

開催日:12月4日(日) 市、農業委員会事務局、農業委員、県農業公社職員による。

(3) 耕作放棄地対策事業

○雑草駆除作業等の支援

区 分	実 績			備考	
雑草駆除・耕起	戸 数	15戸	面 積	11.2ha	大和田町含む
草刈り・水管理	戸 数	106戸	面 積	88.8ha	15ha 増

○耕作放棄地の解消に関する事業の実施

- ・農地リニューアル事業への協力 (現地調査)

(4) 新規就農者支援事業

○市いちご新規就農者研修事業

昨年、市が「いちご市」を宣言した事に伴い、「市いちご新規就農者研修事業」が立ち上げられ、「市いちご新規就農者支援対策協議会」の構成メンバーとして、研修生受入れ用ハウスの設置や、技術指導などについて、関係機関と共に検討を進めてきた。

(5) 農業への理解促進と将来の担い手確保促進事業

①親子農業体験学習

内 容: 生涯学習課と連携し市内の小学生・保護者を対象に農業体験を通して農業の大切さ・食への関心を高める。

参加者: 19組46名

開 催: 5月14日(土) 枝豆、さつまいも、落花生、すいか播種作業

8月 6日(土) すいか、枝豆収穫 草取作業

10月22日(土) 収穫祭、落花生、さつまいも収穫

②鳥獣害対策

○近年、イノシシやシカなどによる鳥獣害が深刻な状況にあるため、被害減少に向け農地を保全する人を対象とした、狩猟免許取得までの経費の一部を公社が補助した。

補助対象者の地域と人数

・南摩地区 1名 ・清洲地区 1名

③麻の生産について

○麻の栽培を継続するための生産技術の研究や、麻の正しい知識の普及啓発、さらなる需要拡大を行う。

・作業を行うための道具の購入と近隣農家から器具等の提供を頂いた。

購入品

・麻ゆで装置一式(釜・バーナー・干し場台等)

提供品

・麻播種機

・麻切り包丁

・麻ふね

・麻ひき機

(6)循環型社会形成事業

○市及び堆肥化センターとの連携により、堆肥製造業務並びに堆肥を利用した土作りと、食に対する安心・安全な農産物の販路拡大促進を図った。

○市環境部の協力要請に伴い、月島機械(株)や、日本下水道事業団などとともに、脱水乾燥システムによる、下水汚泥の肥料化、燃料化を図るべく「下水道革新的技術実証事業」が、国の補助を得て行われ、当公社では、「汚泥堆肥実証試験ほ」を設置し、その有効利用の可能性について検討した。

(7)機械・施設のリース事業

○農業機械リース事業の実施

貸出先: 有限会社 農業生産法人かぬま

資産名称: ・機械 36台 ・車両17台 ・建物・備品 8件